



## 組立・施工される方へのお願い

本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。



### 注意

…組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



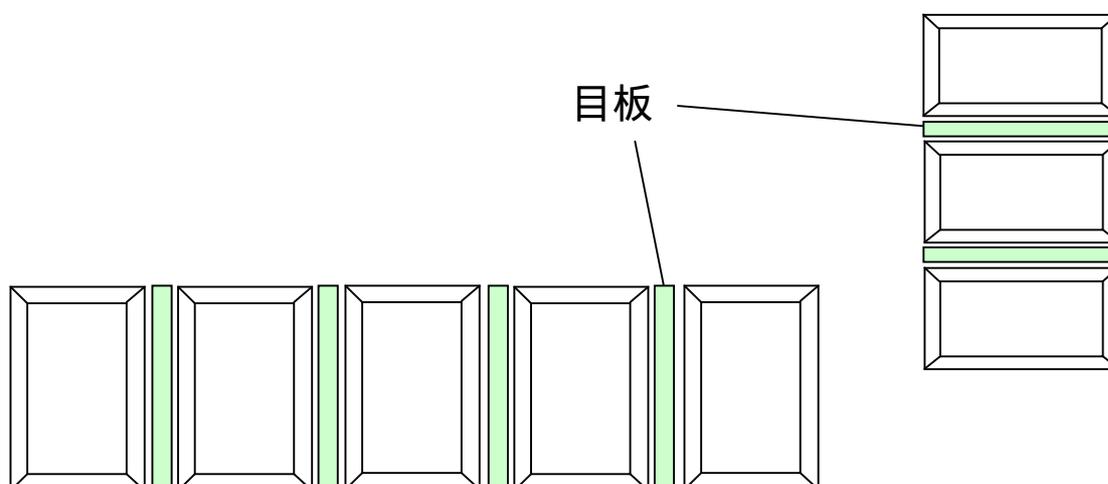
### 注意

組立、取付、施工の際は漏水の原因になるおそれがあるため下記項目について必ずお守りください。

- ・指定個所には必ずシーリング材(別途)を充填して下さい。
- ・シーリング処理する際は必ずプライマーを使用して下さい。
- ・目板蓋に張り付けてあるコーキングシーラーは目板と合せた時、目板のまわりに、はみ出すように合せて、ねじ止めして下さい。
- ・目板を取付ける場所においてサッシ枠のまわりに防水テープ、透湿防水シートが張り付けてあるのを確認した後、目板及びアタッチメントを取付けて下さい。
- ・目板蓋取付けのねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み、がたつきのないことを確認してください。

## 1.商品概要

サッシとサッシの間に目板(アルミ製)を取付けることにより、今までのマイスタービュー等では表現できなかった自由な開口及び外観の高意匠性を実現できるようになります。



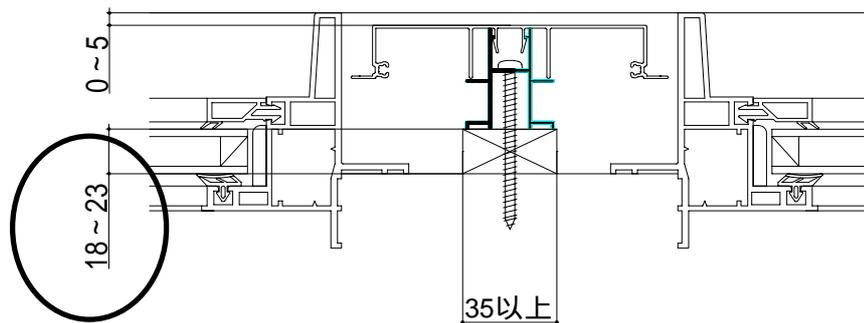
## 2.商品特徴

本製品は  
アタッチメント 目板 目板蓋  
を組み合わせて使用します。  
下記を参照し、現場の納まりに応じてそれぞれご使用ください。

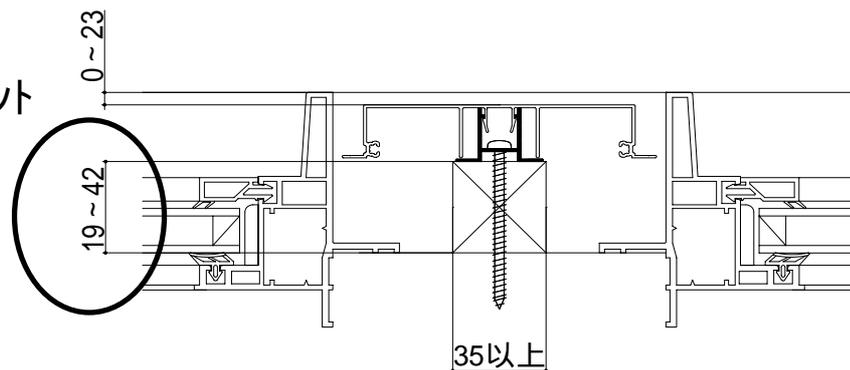
### アタッチメント

アタッチメントは(1)胴縁アタッチメント(2)アジャストアタッチメントの2種類あり  
柱とアタッチメントの間に胴縁又はそれ以上の  
見込み寸法の木をかいして取付けます。  
使用する”かい木”の見込み寸法に応じて使用してください。

#### (1)胴縁アタッチメント



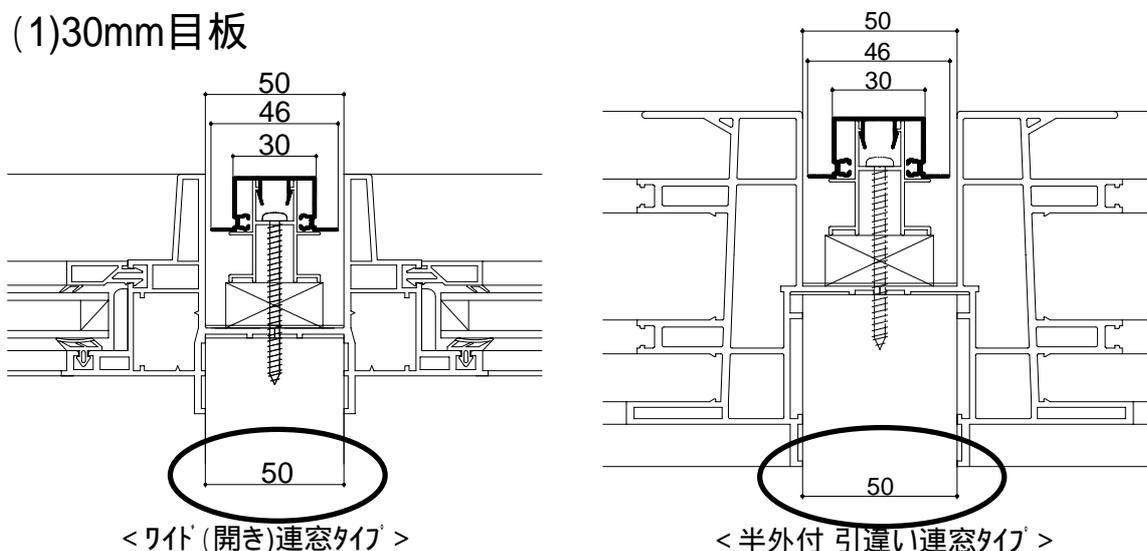
#### (2)アジャストアタッチメント



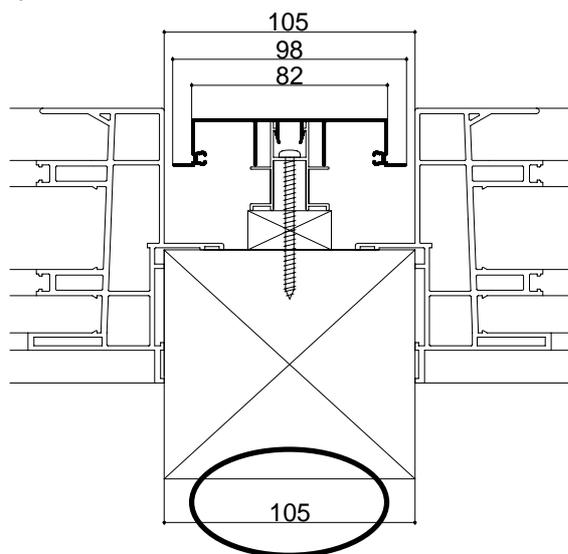
### 目板

目板は(1)30mm目板(2)82mm目板(3)102mm目板の3種類あり  
サッシ枠とサッシ枠の間に入る柱の見付け幅に応じて使用して下さい。

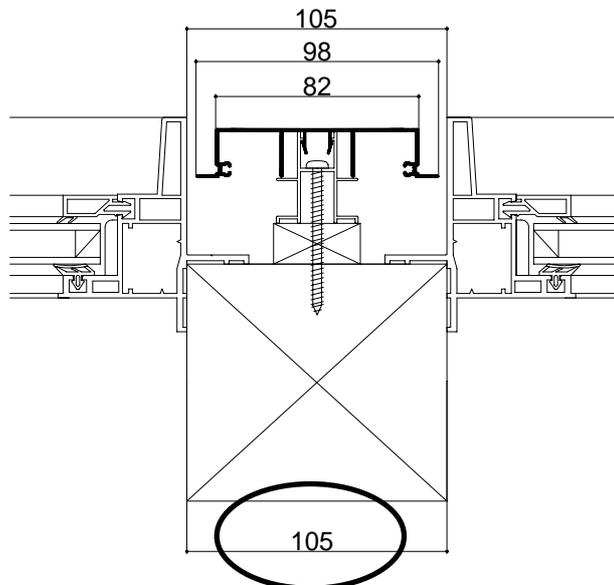
#### (1)30mm目板



## (2)82mm目板

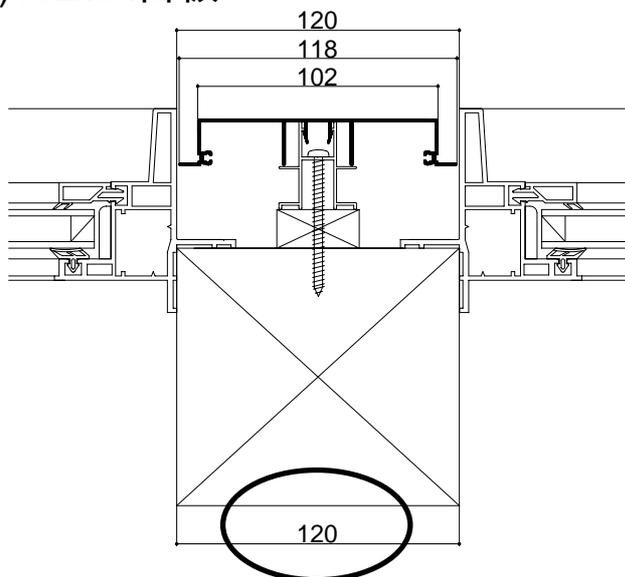


<半外付 引違い連窓タイプ>



<ワイド(開き)連窓タイプ>

## (3)102mm目板

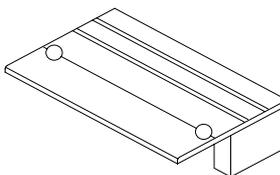
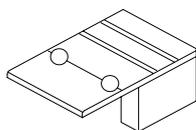


<ワイド(開き)連窓タイプ>

### 目板蓋

目板形材の両端に取付ける蓋(キャップ)となる部品であり  
30mm幅、82mm幅、102mm幅用の3種類あります。

目板蓋はそれぞれ使用する目板と同じ幅のものを使用してください。  
(例) 目板 102mm使用の場合 目板蓋 102mm幅用 を使用  
目板1納まりにつき、目板蓋1セット(1セット中 2ヶ入り)を使用します。



### 3.加工・組立・取付方法

本書では、サッシを連窓した場合において目板を使用する手順について説明しておりますが、段窓する場合においても同様の手順にて加工、組立、取付を行って下さい。

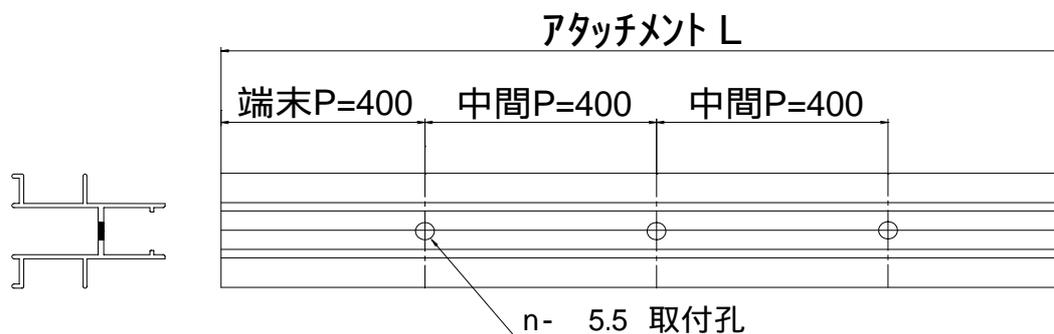
#### 加工、組立、取付手順

アタッチメントを切断し取付孔をあけ、柱にねじ止めする。  
目板を切断し、端部を切り欠く。  
目板蓋を目板の両側にねじ止めする。  
目板をアタッチメントに嵌め込んで取付ける。

#### 加工、組立、取付詳細

アタッチメントを切断し、5.5の取付孔をあける。  
取付孔はアタッチメント1m当り2～3ヶ所程度(孔ピッチは400mm程度)

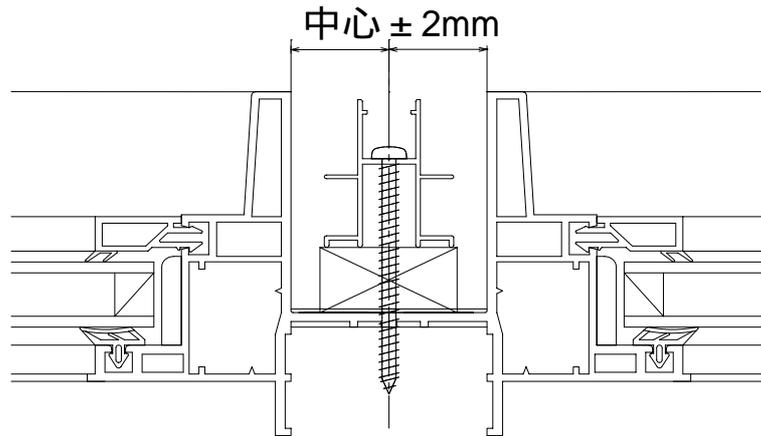
品種	アタッチメント切断寸法L
ワイド・開き 引違い(半外付け)	サッシ基本H(W)-100～300



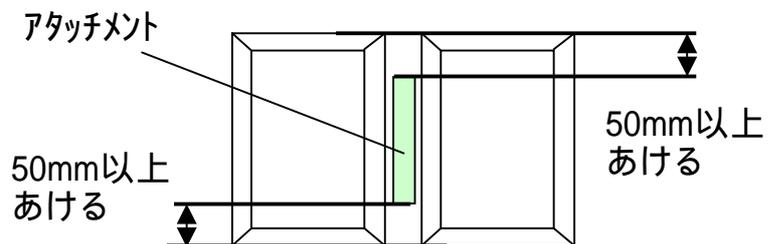
アタッチメントに同梱されているねじ(パインド TP1種5×65)を使用し、アタッチメントを柱(かい木)に取付ける。

< 取付位置 >

(1)横方向:  
サッシ枠間の開口中央



(2)縦方向:  
サッシ枠上下ラインより  
50mm以上空ける



**!** 注意

- ・形材が変形しない程度にトルク調整してねじ止めして下さい。
- ・アタッチメントはサッシ枠間の開口中央に取付けてください。(中心からずれると目板の取付が出来なくなるおそれがあります。)

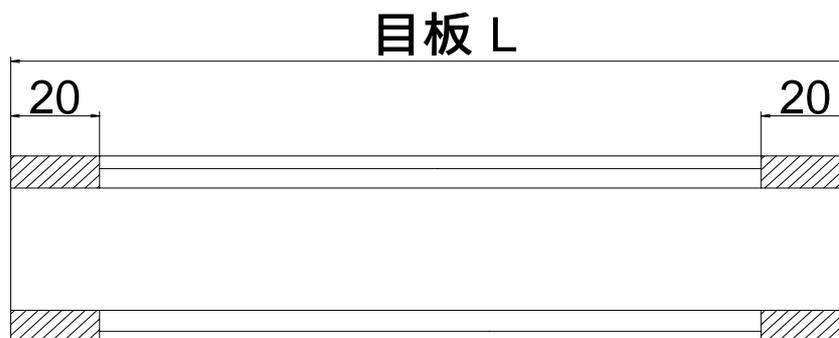
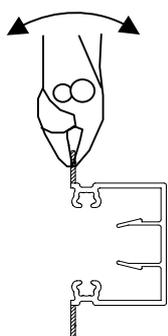
目板を切断する。

品種	目板切断寸法L
ワイド・開き 引違い(半外付け)	サッシ基本H(W)-4

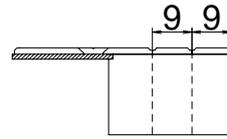
**!** 注意

漏水防止の為、目板は斜めにならないよう(両側共)垂直に切断して下さい。

目板の端部(下記斜線部)をペンチ、ニッパーを使用し折り曲げ、切り欠く。



目板蓋の孔にシーリング塗布し、ねじ止め  
(皿TP1種4×16)にて目板に取付ける。  
納まりよって蓋が柱にぶつかってしまう  
場合、右図部分をカットして下さい。

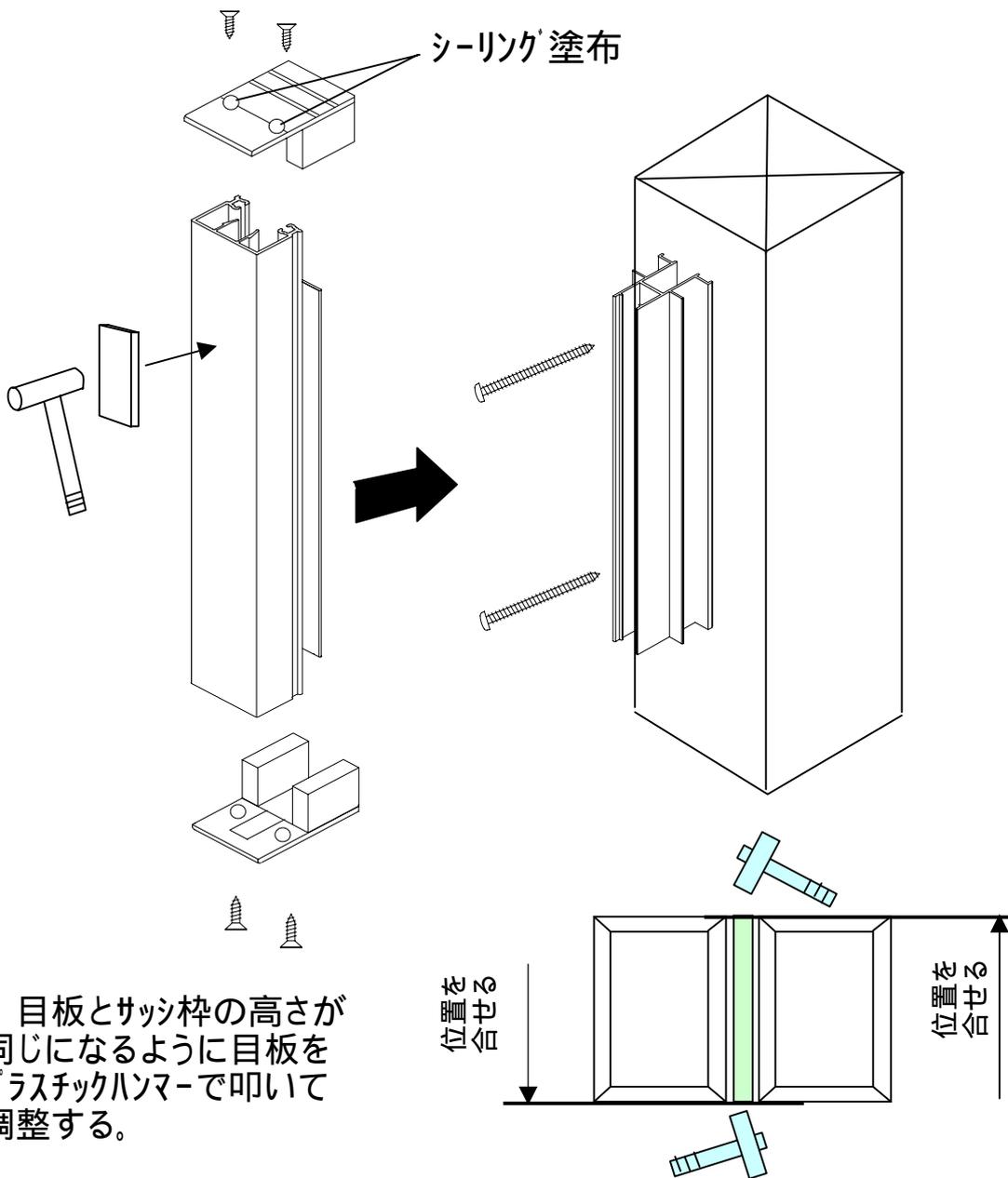


必要に応じ  
凹溝ラインにて  
カッターでカット+  
ペンチで折曲げ

**注意**

- ・目板蓋取付ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み、がたつきのないことを確認してください。
- ・目板蓋をねじで止める前に、取付孔にシーリングを充填してからねじ止めしてください。

プラスチックハンマーを使用し目板をアタッチメントに、はめ込んで取付ける。  
直接ハンマーで目板をたたくと形材がへこむおそれがありますので木片を使用して、奥まではめ込んで下さい。



目板とサツ枠の高さが  
同じになるように目板を  
プラスチックハンマーで叩いて  
調整する。

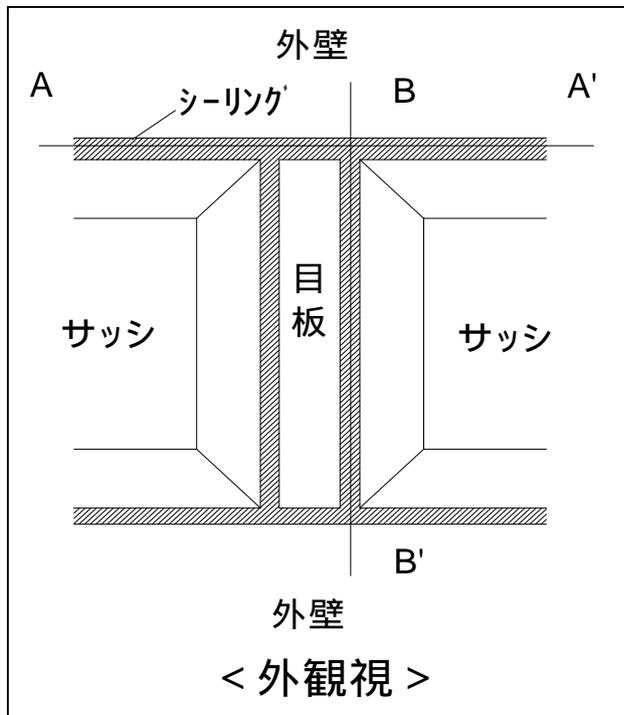
## 4.施工、シーリング処理

下図のように目板とサッシ、外壁間にバックアップ材を挿入(上下にまわし込む)しシーリング処理をして下さい。

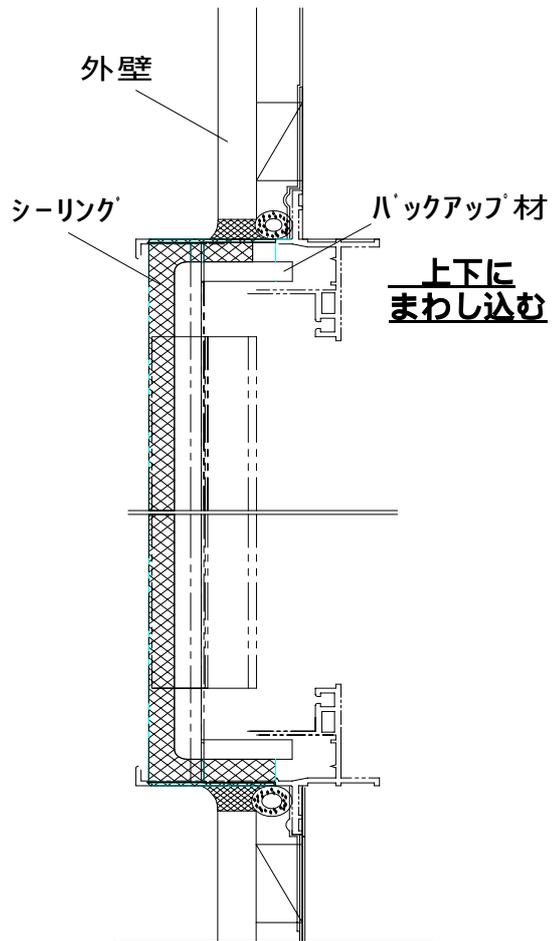
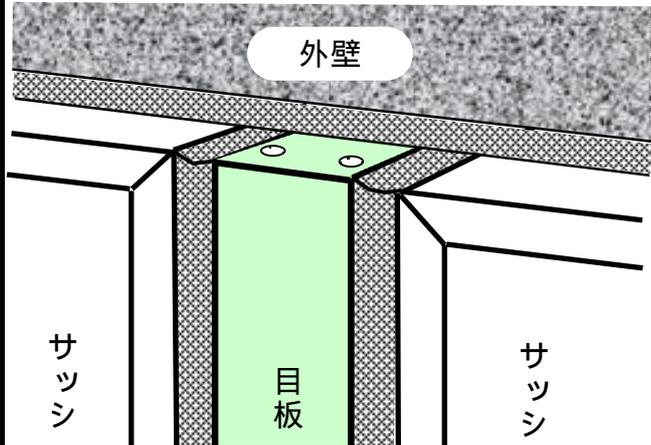


注意

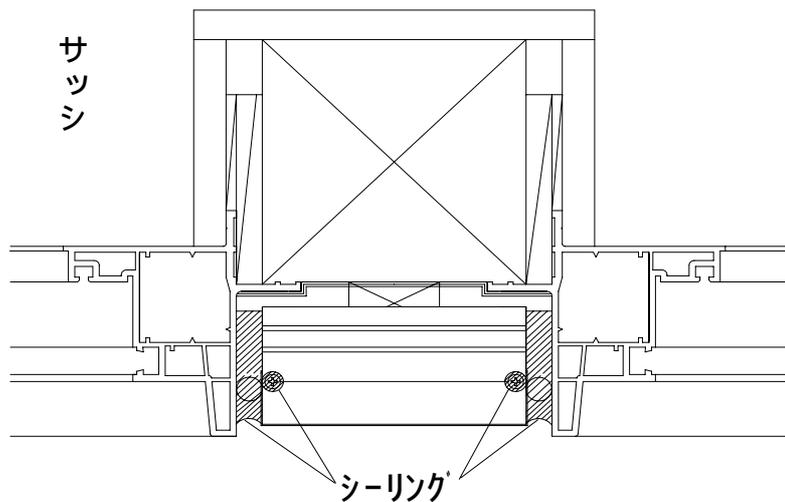
シーリングの際は必ずプライマーを使用して下さい。



外壁  
< 外観視 >



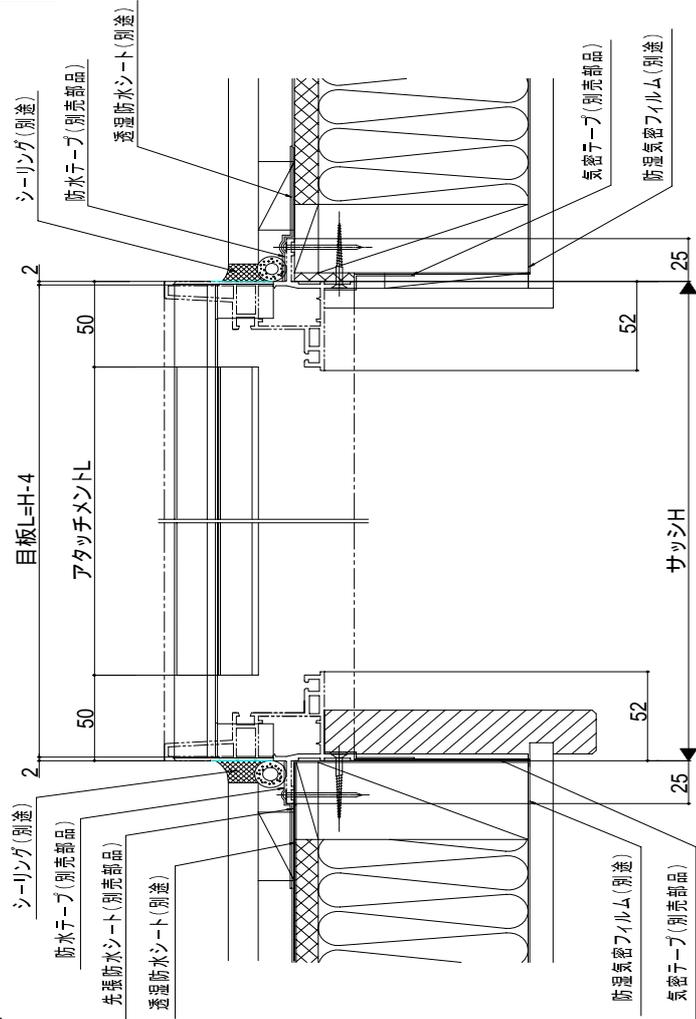
B-B' 縦断面図



A-A' 横断面図

## 5.参考納まり図

### ワイドベース 縦断面図



### ワイドベース 102mm目板 横断面図

